

衣類循環に向けた取り組み

2【回収した衣類の選別を実施している事例】

■株式会社鈴六



地域に密着した古着のリサイクルを行う。地域での集団資源回収や回収ボックス設置による古着回収のほか、2024年からはオリジナルの古着回収BOX(クラウドファンディングによる制作)をスーパーなどに設置。

※オリジナルの回収BOXには愛知県の間伐材を使用。

- 年間の引き取り総量は約3,000トン。



回収された衣類や布類。



手選別の様子。



加工後のウエス。

95%をリサイクル。(古着リユース50%、フェルト30%、工業用ウエス15%)

- ◎古着 … 手選別で、約100種類に仕分け。服として着用できるものは海外(主に東南アジア)に輸出しリユース。
- ◎フェルト … 主に自動車部品用に加工。
- ◎ウエス … 素材、色などを選別後、用途別に自社工場加工。

- 地元小学校で、古着の社会循環をテーマにした出前教室や、地元プロバスケットボールチームと衣類の回収イベントも実施。

取り組み概要
及び
効果

株式会社鈴六
代表取締役／鈴木 和人
所在地／岡崎市大平町字堤下73-1
TEL／0564-21-5305
<https://suzuroku.studio.site>

戦前より回収事業を行い、1950(昭和25)年に法人化。現在は古着のリサイクル及びウエスの製造販売を中心に、「必要をみつめ、えらび、届ける」をスローガンにして地域に長く求められるリテンション企業を目指す。

